

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名 : グループホーム 明日葉  
 作成日 : 平成26年1月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者の重度化に伴う、終末期に向けた方針の共有と支援(利用者及び家族と事業側との方針の共有)	終末期の受け入れに対するスタッフのスキルアップ及び医療機関との連携を図る。(利用者家族と事業側の方針の確認)	現在、終末期の利用者はいないが訪問看護ステーションまたは、医療機関との契約等にて、終末期の看取りが出来る体制を作る。また、健康管理及びターミナルケアについて、スタッフの知識及び意識を高揚する。終末期の対応については、事前に家族との話し合いを持ち、意思の確認を行う	12ヵ月
2	35	火災や地震、水害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築く。また、スムーズに避難できるよう道具や設備の工夫をする。	母体施設や地域住民の協力を得ながら昼夜、夜間想定避難訓練を繰り返し、災害対策への意識を高める。	民家まで遠い為、地域の協力を要することから、まは火を出さない為の取り組みや母体施設との連携体制を強化する。また、安全かつスムーズな避難ができるように、スロープの設置を検討中である。	12ヵ月
3	45	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように個々にそった支援を行っている。温泉施設利用の要望があるが、利用者合った設備が無く、又、夜間の要望には一人勤務の為応じることができない。	施設内の浴室でみ季節を感じ、リラックスできて入浴を楽しまれる工夫をする。	5月の菖蒲湯、12月のゆず湯など季節を感じた事ができたり、入浴剤の使用などで温泉気分を味わっていただく。また、のれんを掛けたりして雰囲気作りに工夫する。	12ヵ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。